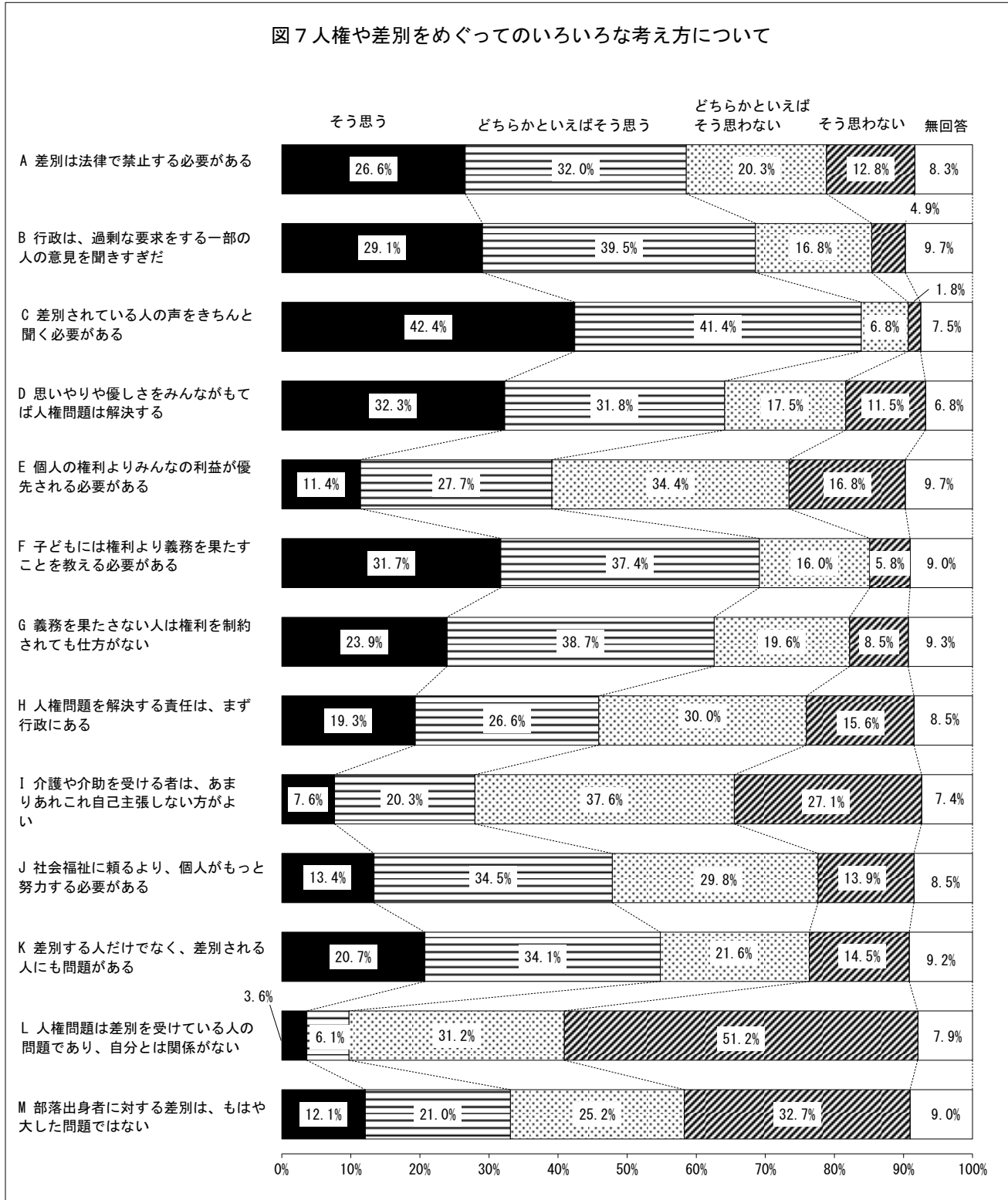


4. 人権や差別についての考え方、さまざまな人権に関する考え方について (問7・問8より)

(1) 人権や差別の考え方について

問7 人権や差別をめぐるいろいろな考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。A～Mのそれぞれについて、あてはまるものを一つだけ選び、その番号に○をつけてください。



A 差別は法律で禁止する必要がある

- ・「どちらかといえばそう思う」が最多の 32.0%、次いで「そう思う」26.6%となり、58.6%の人が「差別は法律で禁止する必要がある」と考えている。反対に、「どちらかといえばそう思わない」20.3%と「そう思わない」を合わせた意見は33.1%となった。全体を通じて「どちらかといえばそう思う」が最多であるが、「どちらかといえばそう思わない」も多く、職業別の官公庁では「法律で禁止する必要があるとは思わない」とする意見が5割となり、肯定意見と同率になっている。

B 行政は、平等の名の下に過剰な要求をする一部の人の意見を聞きすぎだ

- ・「どちらかといえばそう思う」が最多の 39.5%、次いで「そう思う」29.1%となり7割弱が「行政は、平等の名の下に過剰な要求をする一部の人の意見を聞きすぎだ」とする意見を示した。逆に「どちらかといえばそう思わない」16.8%、「そう思わない」4.9%で否定する意見は2割だった。
- ・年齢別の50歳代では「行政は、平等の名の下に過剰な要求をする一部の人の意見を聞きすぎだ」とする意見が87.3%で、「そう思わない」は「0」だった。
- ・また、職業別で見ると自営業、民間企業、官公庁、学校関係において、肯定する意見がすべて7割を超え、官公庁においては8割を超えている。行政自体が「行政は、平等の名の下に過剰な要求をする一部の人の意見を聞きすぎだ」と多くの人が回答していることは注目すべきである。

【表一職業別集計】

		問7B. 行政は、平等の名の下に過剰な要求をする一部の人の意見を聞きすぎだ					
		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答	計
総数	度数	209	284	121	35	70	719
	%	29.1%	39.5%	16.8%	4.9%	9.7%	100.0%
職業 自営業	度数	23	36	11	3	6	79
	%	29.1%	45.6%	13.9%	3.8%	7.6%	100.0%
民間企業_24 人以下	度数	17	17	9	0	1	44
	%	38.6%	38.6%	20.5%	0.0%	2.3%	100.0%
民間企業_25 人以上	度数	32	46	17	9	5	109
	%	29.4%	42.2%	15.6%	8.3%	4.6%	100.0%
官公庁	度数	6	6	1	1	0	14
	%	42.9%	42.9%	7.1%	7.1%	0.0%	100.0%
学校関係	度数	4	7	3	1	0	15
	%	26.7%	46.7%	20.0%	6.7%	0.0%	100.0%
無職	度数	89	118	66	16	48	337
	%	26.4%	35.0%	19.6%	4.7%	14.2%	100.0%
その他	度数	20	36	11	3	2	72
	%	27.8%	50.0%	15.3%	4.2%	2.8%	100.0%

C 差別されている人の声をきちんと聞く必要がある

- ・「そう思う」が最多の 42.4%、次いで「どちらかといえばそう思う」41.4%となり、8割以上の人が「差別されている人の声をきちんと聞く必要がある」とする意見を示した。逆に「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」という否定意見は、10%未満だった。

D 思いやりやさしさをみんながもてば人権問題は解決する

- ・「そう思う」が最多の32.3%、次いで「どちらかといえばそう思う」31.8%となり、ほぼ同率となった。「どちらかといえばそう思わない」については17.5%、「そう思わない」は11.5%だった。
- ・性別の選択しない人では「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「思いやりやさしさをみんながもてば人権問題は解決するとは思わない」とする意見が44.0%となり、肯定する意見と拮抗している。

【表一性別集計】

		問7D. 思いやりやさしさをみんながもてば人権問題は解決する					計
		そう思う	どちらか といえば そう 思う	どちらか といえば そう 思わない	そう思わ ない	無回答	
総数	度数	232	229	126	83	49	719
	%	32.3%	31.8%	17.5%	11.5%	6.8%	100.0%
性別 男性	度数	78	84	42	34	10	248
	%	31.5%	33.9%	16.9%	13.7%	4.0%	100.0%
女性	度数	126	120	67	32	24	369
	%	34.1%	32.5%	18.2%	8.7%	6.5%	100.0%
選択しない	度数	13	12	13	9	3	50
	%	26.0%	24.0%	26.0%	18.0%	6.0%	100.0%

E 個人の権利より、みんなの利益が優先される必要がある

- ・「どちらかといえばそう思わない」が最多の34.4%、次いで「どちらかといえばそう思う」27.7%、「そう思わない」16.8%となった。全体的には「個人の権利より、みんなの利益が優先される必要があるとは思わない」という意見が多くなっているが、職業別の学校関係は肯定意見が7割を超えている。

【表一職業別集計】

		問7E. 個人の権利より、みんなの利益が優先される必要がある					計
		そう思う	どちらか といえば そう 思う	どちらか といえば そう 思わない	そう思わ ない	無回答	
総数	度数	82	199	247	121	70	719
	%	11.4%	27.7%	34.4%	16.8%	9.7%	100.0%
職業 自営業	度数	13	13	28	20	5	79
	%	16.5%	16.5%	35.4%	25.3%	6.3%	100.0%
民間企業_24 人以下	度数	6	13	12	11	2	44
	%	13.6%	29.5%	27.3%	25.0%	4.5%	100.0%
民間企業_25 人以上	度数	9	36	48	12	4	109
	%	8.3%	33.0%	44.0%	11.0%	3.7%	100.0%
官公庁	度数	0	4	8	2	0	14
	%	0.0%	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	100.0%
学校関係	度数	2	9	3	1	0	15
	%	13.3%	60.0%	20.0%	6.7%	0.0%	100.0%
無職	度数	38	95	114	43	47	337
	%	11.3%	28.2%	33.8%	12.8%	13.9%	100.0%
その他	度数	8	23	20	17	4	72
	%	11.1%	31.9%	27.8%	23.6%	5.6%	100.0%

F 子どもには権利よりさきに、義務を果たすことを教える必要がある

- ・「どちらかといえばそう思う」が最多の37.4%、次いで「そう思う」31.7%、「どちらかといえばそう思わない」16.0%となった。

- ・年齢別の40歳代～70歳代にかけては7割以上が「子どもには権利よりさきに、義務を果たすことを教える必要がある」とする意見を示し、職業別の官公庁、学校関係、その他では8割以上となっている。しかし、年齢別の10歳代～30歳代については否定する意見がほぼ4割～5割半ばを示しており、年齢層による考え方の違いが見られる。

【表一年齢別集計】

		問7F. 子どもには権利よりさきに、義務を果たすことを教える必要がある					計
		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答	
総数	度数	228	269	115	42	65	719
	%	31.7%	37.4%	16.0%	5.8%	9.0%	100.0%
年齢 18～19歳	度数	1	2	4	1	1	9
	%	11.1%	22.2%	44.4%	11.1%	11.1%	100.0%
20～29歳	度数	8	18	14	3	0	43
	%	18.6%	41.9%	32.6%	7.0%	0.0%	100.0%
30～39歳	度数	10	15	18	3	0	46
	%	21.7%	32.6%	39.1%	6.5%	0.0%	100.0%
40～49歳	度数	23	31	16	6	1	77
	%	29.9%	40.3%	20.8%	7.8%	1.3%	100.0%
50～59歳	度数	23	47	14	8	2	94
	%	24.5%	50.0%	14.9%	8.5%	2.1%	100.0%
60～69歳	度数	50	69	23	12	11	165
	%	30.3%	41.8%	13.9%	7.3%	6.7%	100.0%
70歳以上	度数	101	75	21	8	43	248
	%	40.7%	30.2%	8.5%	3.2%	17.3%	100.0%

G 義務を果たさない人は権利を制約されても仕方がない

- ・「どちらかといえばそう思う」が最多の38.7%、次いで「そう思う」23.9%、「どちらかといえばそう思わない」19.6%だった。
- ・性別では、男性と選択しないに比べ女性は、「義務を果たさない人は権利を制約されても仕方がない」とする意見については6割弱と少なく、否定する意見も3割に達している。

- ・年齢別の40歳代と50歳代では「義務を果たさない人は権利を制約されても仕方がない」とする意見が7割以上となったが、10歳代～30歳代では「仕方がないとは思わない」という意見がほぼ4割～5割半ばとなった。

【表一年齢別集計】

		問7G. 義務を果たさない人は権利を制約されても仕方がない					計	
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答		
総数	度数	172	278	141	61	67	719	
	%	23.9%	38.7%	19.6%	8.5%	9.3%	100.0%	
年齢	18～19歳	度数	1	2	4	1	1	9
	%	11.1%	22.2%	44.4%	11.1%	11.1%	100.0%	
	20～29歳	度数	10	16	15	2	0	43
	%	23.3%	37.2%	34.9%	4.7%	0.0%	100.0%	
	30～39歳	度数	9	15	18	4	0	46
	%	19.6%	32.6%	39.1%	8.7%	0.0%	100.0%	
	40～49歳	度数	20	38	10	7	2	77
	%	26.0%	49.4%	13.0%	9.1%	2.6%	100.0%	
	50～59歳	度数	19	51	15	7	2	94
	%	20.2%	54.3%	16.0%	7.4%	2.1%	100.0%	
	60～69歳	度数	33	65	36	18	13	165
	%	20.0%	39.4%	21.8%	10.9%	7.9%	100.0%	
	70歳以上	度数	70	79	40	18	41	248
	%	28.2%	31.9%	16.1%	7.3%	16.5%	100.0%	

- ・職業別では、官公庁は100.0%、学校関係は80.0%の人が「仕方がない」とする意見だった。

【表一職業別集計】

		問7G. 義務を果たさない人は権利を制約されても仕方がない					計	
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答		
総数	度数	172	278	141	61	67	719	
	%	23.9%	38.7%	19.6%	8.5%	9.3%	100.0%	
職業	自営業	度数	23	27	16	7	6	79
	%	29.1%	34.2%	20.3%	8.9%	7.6%	100.0%	
	民間企業_24人以下	度数	14	18	5	6	1	44
	%	31.8%	40.9%	11.4%	13.6%	2.3%	100.0%	
	民間企業_25人以上	度数	24	49	23	9	4	109
	%	22.0%	45.0%	21.1%	8.3%	3.7%	100.0%	
	官公庁	度数	3	11	0	0	0	14
	%	21.4%	78.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	学校関係	度数	3	9	2	1	0	15
	%	20.0%	60.0%	13.3%	6.7%	0.0%	100.0%	
	無職	度数	70	122	75	25	45	337
	%	20.8%	36.2%	22.3%	7.4%	13.4%	100.0%	
	その他	度数	24	27	13	5	3	72
	%	33.3%	37.5%	18.1%	6.9%	4.2%	100.0%	

H 人権問題を解決する責任は、まず行政にある

- ・「どちらかといえばそう思わない」が最多の30.0%、次いで「どちらかといえばそう思う」26.6%、「そう思う」19.3%、「そう思わない」15.6%となった。「どちらかといえばそう思う」26.6%と「そう思う」19.3%を合わせた「人権問題を解決する責任は、まず行政にある」とする意見は45.9%であったのに対して、否定する意見は45.6%でほぼ同率となっている。判断がかなり困難であったことがうかがえる。
- ・参考までに職業別の官公庁では64.3%は否定する意見だった。責任の負い方はそれぞれの特性があるが、人権問題の解決は行政はもとより、地域社会、企業、教育、各種団体、さらに私たち一人ひとりにも課せられた問題であることを認識しなければならない。

I 介護や介助を受ける立場にある者は、あまりあれこれ自己主張しない方がよい

- ・「どちらかといえばそう思わない」が最多の37.6%、次いで「そう思わない」27.1%、「どちらかといえばそう思う」20.3%となった。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の「介護や介助を受ける立場にある者は、あまりあれこれ自己主張しない方がよい」とする意見は27.9%であったのに対して、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の否定意見は64.7%だった。
- ・性別集計の男性では肯定する意見が35.5%、女性と選択しない人は24%と約11ポイントの開きがあった。逆に女性と選択しない人は否定する意見が男性の60%より8～9ポイント高くなっている。
- ・年齢別では70歳以上の人は否定する意見が5割程度で、肯定する意見は33.5%だった。否定する意見は年齢別で最少であり、肯定する意見は最多だった。

【表一年齢別集計】

		問71. 介護や介助を受ける立場にある者は、あまりあれこれ自己主張しない方がよい					
		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答	計
総数	度数	55	146	270	195	53	719
	%	7.6%	20.3%	37.6%	27.1%	7.4%	100.0%
年齢 18～19歳	度数	0	3	4	2	0	9
	%	0.0%	33.3%	44.4%	22.2%	0.0%	100.0%
20～29歳	度数	1	9	18	15	0	43
	%	2.3%	20.9%	41.9%	34.9%	0.0%	100.0%
30～39歳	度数	3	7	20	16	0	46
	%	6.5%	15.2%	43.5%	34.8%	0.0%	100.0%
40～49歳	度数	2	21	27	26	1	77
	%	2.6%	27.3%	35.1%	33.8%	1.3%	100.0%
50～59歳	度数	3	18	52	19	2	94
	%	3.2%	19.1%	55.3%	20.2%	2.1%	100.0%
60～69歳	度数	9	32	73	45	6	165
	%	5.5%	19.4%	44.2%	27.3%	3.6%	100.0%
70歳以上	度数	33	50	64	64	37	248
	%	13.3%	20.2%	25.8%	25.8%	14.9%	100.0%

J 社会福祉に頼るより、個人がもっと努力する必要がある

- ・「どちらかといえばそう思う」が最多の34.5%、次いで「どちらかといえばそう思わない」29.8%、「そう思わない」13.9%、「そう思う」13.4%と、肯定する意見と否定する意見が拮抗しているが、「社会福祉に頼るより、個人がもっと努力する必要がある」とする意見が4ポイントほど多くなった。
- ・性別の選択しない人は52.0%の人が否定する意見を、男性は反対に51.2%が肯定する意見を示した。
- ・年齢別では、50歳代以下は否定意見が過半数を示したのに対して、60歳以上は肯定意見が否定意見より上回った。特に70歳以上は肯定する意見が過半数を上回った。

【表一年齢別集計】

		問7J. 社会福祉に頼るより、個人がもっと努力する必要がある					
		そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう 思わない	そう思わ ない	無回答	計
総数	度数	96	248	214	100	61	719
	%	13.4%	34.5%	29.8%	13.9%	8.5%	100.0%
年齢 18～19歳	度数	1	3	4	1	0	9
	%	11.1%	33.3%	44.4%	11.1%	0.0%	100.0%
20～29歳	度数	2	19	14	8	0	43
	%	4.7%	44.2%	32.6%	18.6%	0.0%	100.0%
30～39歳	度数	4	10	23	9	0	46
	%	8.7%	21.7%	50.0%	19.6%	0.0%	100.0%
40～49歳	度数	7	28	26	13	3	77
	%	9.1%	36.4%	33.8%	16.9%	3.9%	100.0%
50～59歳	度数	7	33	46	6	2	94
	%	7.4%	35.1%	48.9%	6.4%	2.1%	100.0%
60～69歳	度数	19	60	52	24	10	165
	%	11.5%	36.4%	31.5%	14.5%	6.1%	100.0%
70歳以上	度数	51	87	42	31	37	248
	%	20.6%	35.1%	16.9%	12.5%	14.9%	100.0%

K 差別する人だけでなく、差別される人にも問題がある

- ・「どちらかといえばそう思う」が最多の34.1%、次いで「どちらかといえばそう思わない」21.6%、「そう思う」20.7%となった。「どちらかといえばそう思う」と「そう思う」を合わせると54.8%なり、過半数が「差別する人だけでなく、差別される人にも問題がある」とする意見を示している。
- ・年齢別では30歳代以下では否定する意見が過半数であるのに対して、40歳代以上においては肯定する意見が過半数を上回っている。

【表一年齢別集計】

		問7K. 差別する人だけでなく、差別される人にも問題がある					
		そう思う	どちらかといえ ばそう 思う	どちらかといえ ばそう 思わない	そう思わ ない	無回答	計
総数	度数	149	245	155	104	66	719
	%	20.7%	34.1%	21.6%	14.5%	9.2%	100.0%
年齢 18～19歳	度数	1	0	3	5	0	9
	%	11.1%	0.0%	33.3%	55.6%	0.0%	100.0%
20～29歳	度数	4	15	14	10	0	43
	%	9.3%	34.9%	32.6%	23.3%	0.0%	100.0%
30～39歳	度数	6	13	15	12	0	46
	%	13.0%	28.3%	32.6%	26.1%	0.0%	100.0%
40～49歳	度数	18	22	23	12	2	77
	%	23.4%	28.6%	29.9%	15.6%	2.6%	100.0%
50～59歳	度数	15	42	20	13	4	94
	%	16.0%	44.7%	21.3%	13.8%	4.3%	100.0%
60～69歳	度数	33	62	36	24	10	165
	%	20.0%	37.6%	21.8%	14.5%	6.1%	100.0%
70歳以上	度数	62	79	39	27	41	248
	%	25.0%	31.9%	15.7%	10.9%	16.5%	100.0%

L 人権問題とは、差別を受けている人の問題であって、自分とは関係がない

- ・「そう思わない」が51.2%を占め最多で、次いで「どちらかといえばそう思わない」31.2%、「どちらかといえばそう思う」6.1%、「そう思う」3.6%となった。8割以上が「人権問題とは、差別を受けている人の問題であって、自分とは関係がないとは思わない」とする意見を示した。

M 部落出身者に対する差別は、もはや大した問題ではない

- ・「そう思わない」が最多の32.7%、次いで「どちらかといえばそう思わない」25.2%、「どちらかといえばそう思う」21.0%となった。おおよそ全体を通じて「部落出身者に対する差別は、もはや大した問題ではない」とは考えず、「そう思わない」と断定した回答が最多となっている。

□クロス集計

問7M. 部落出身者に対する差別は、もはや大した問題ではない

× 問12 気に入った物件の近くに同和地区があると聞いたときの態度

		問12 あなたが住宅をさがして、気に入った物件があったとします。後に、そのあたりに同和地区があると聞いたとき、あなたはどのように思いますか				
		同じ小学校区であること さえいやだ	同じ小学校区でも、同和地区と離れていれば かまわない	同和地区と隣接していてもかまわない	同和地区の中であってもかまわない	合計
問7M. 部落出身者に対する差別は、もはや大した問題ではない	そう思う	12 14.6%	26 31.7%	24 29.3%	20 24.4%	82 100.0%
	どちらかといえば そう思う	10 7.2%	55 39.6%	48 34.5%	26 18.7%	139 100.0%
	どちらかといえば そう思わない	7 4.0%	48 27.6%	81 46.6%	38 21.8%	174 100.0%
	そう思わない	9 4.1%	39 17.6%	88 39.6%	86 38.7%	222 100.0%
	合計	38 6.2%	168 27.2%	241 39.1%	170 27.6%	617 100.0%

- ・「部落出身者に対する差別は、もはや大した問題ではない」について、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の多くは、「気に入った物件の近くに同和地区があると聞いたときの態度」として、「隣接していてもかまわない」と「同和地区の中であってもかまわない」への回答が多くを占めた。

問 7M. 部落出身者に対する差別は、もはや大した問題ではない

× 問 13 友人の同和地区に対する差別的な発言に対する行動について

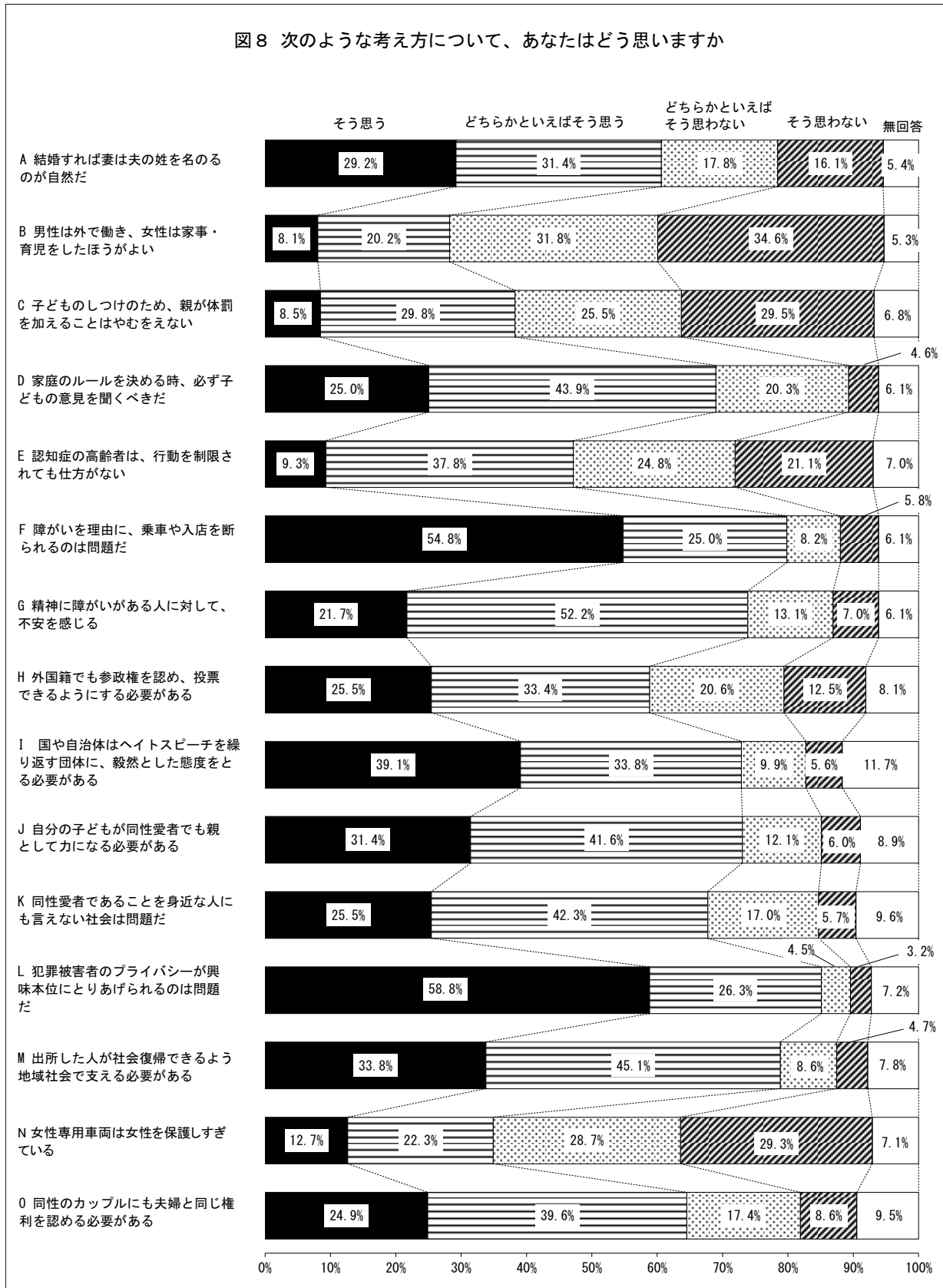
問13 あなたの友人が、同和地区に対する差別的な発言をしたとき、あなたはどのような行動をとると思いますか

		差別的な発言であることを指摘し、話しあう	表向きは話をあわせるが、何とかして差別はいけないことを伝える	表向きは話をあわせ、自分も差別的な言葉を口に出してしまふ	ほかの話題に変えるように努力する	なにもせず にだまってる	その他	わからない	合計
問7M. 部落出身者に対する差別は、もはや大した問題ではない	そう思う	20 23.3%	16 18.6%	2 2.3%	12 14.0%	11 12.8%	5 5.8%	20 23.3%	86 100.0%
	どちらかといえば そう思う	18 12.2%	33 22.3%	6 4.1%	37 25.0%	25 16.9%	3 2.0%	26 17.6%	148 100.0%
	どちらかといえば そう思わない	17 9.6%	66 37.1%	10 5.6%	37 20.8%	20 11.2%	7 3.9%	21 11.8%	178 100.0%
	そう思わない	55 24.3%	70 31.0%	3 1.3%	38 16.8%	23 10.2%	7 3.1%	30 13.3%	226 100.0%
	合計	110 17.2%	185 29.0%	21 3.3%	124 19.4%	79 12.4%	22 3.4%	97 15.2%	638 100.0%

- ・「部落出身者に対する差別は、もはや大した問題ではない」について、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の方が、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人よりも「差別的な発言であることを指摘し、話しあう」と「表向きは話をあわせるが、何とかして差別はいけないことを伝える」について、多く回答した。

(2) さまざまな人権に関する考え方について

問8 次のような考え方について、あなたはどのように思いますか。A～Oのそれぞれについて、あてはまるもの一つだけ選び、その番号に○をつけてください。



A 結婚すれば妻は夫の姓を名のるのが自然だ

- ・「どちらかといえばそう思う」が最多の31.4%、次いで「そう思う」29.2%、「どちらかといえばそう思わない」17.8%、「そう思わない」16.1%となった。「どちらかといえばそう思う」と「そう思う」の差は約2ポイントだった。
- ・しかし、性別の男性では逆に「そう思う」が約5ポイント上回った。また、選択しない人は「そう思わない」が24.0%を占め、「どちらかといえばそう思わない」を加えた「結婚すれば妻は夫の姓を名のるのが自然だとは思わない」とする意見が4割となっている。
- ・同じように否定意見が4割を上回ったのは年齢別の40歳代以下だったが、70歳以上は全体を通じて唯一「そう思う」が4割を超えている。

【表一年齢別集計】

		問8A. 結婚すれば妻は夫の姓を名のるのが自然だ						
		そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わな い	無回答	計	
総数	度数	210	226	128	116	39	719	
	%	29.2%	31.4%	17.8%	16.1%	5.4%	100.0%	
年齢	18～19歳	度数	2	1	3	3	0	9
		%	22.2%	11.1%	33.3%	33.3%	0.0%	100.0%
20～29歳	度数	8	11	16	8	0	43	
	%	18.6%	25.6%	37.2%	18.6%	0.0%	100.0%	
30～39歳	度数	12	15	7	12	0	46	
	%	26.1%	32.6%	15.2%	26.1%	0.0%	100.0%	
40～49歳	度数	12	31	15	16	3	77	
	%	15.6%	40.3%	19.5%	20.8%	3.9%	100.0%	
50～59歳	度数	17	41	18	17	1	94	
	%	18.1%	43.6%	19.1%	18.1%	1.1%	100.0%	
60～69歳	度数	44	53	31	33	4	165	
	%	26.7%	32.1%	18.8%	20.0%	2.4%	100.0%	
70歳以上	度数	105	63	31	22	27	248	
	%	42.3%	25.4%	12.5%	8.9%	10.9%	100.0%	

B 男性は外で働き、女性は家庭を中心に家事・育児をした方がよい

- ・「そう思わない」が最多の34.6%、次いで「どちらかといえばそう思わない」31.8%、「どちらかといえばそう思う」20.2%となった。「そう思う」は8.1%で10%未満に止まっている。「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた「男性は外で働き、女性は家庭を中心に家事・育児をした方がよいとは思わない」とする意見は66.4%だった。

- ・性別の集計で見ると、男性は女性よりも「そう思う」が約4ポイント多く、逆に「そう思わない」は5ポイント少ない。男性と選択しない人との比較では、「そう思う」が男性より6ポイント少なく、「そう思わない」は約6ポイント多い。

【表一性別集計】

		問8B. 男性は外で働き、女性は家庭を中心に家事・育児をしたほうがよい					
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	計
総数	度数	58	145	229	249	38	719
	%	8.1%	20.2%	31.8%	34.6%	5.3%	100.0%
性別 男性	度数	26	52	82	80	8	248
	%	10.5%	21.0%	33.1%	32.3%	3.2%	100.0%
女性	度数	23	72	118	139	17	369
	%	6.2%	19.5%	32.0%	37.7%	4.6%	100.0%
選択しない	度数	2	10	17	19	2	50
	%	4.0%	20.0%	34.0%	38.0%	4.0%	100.0%

C 子どものしつけのためなら、時には親が体罰を加えることはやむを得ない

- ・「どちらかといえばそう思う」が最多の29.8%、次いで「そう思わない」29.5%ではほぼ同率となり、「どちらかといえばそう思わない」25.5%となっている。全体としては「子どものしつけのためなら、時には親が体罰を加えることはやむを得ないとは思わない」とする意見が多くなったが、「そう思う」について男性が10.5%、選択しない人は12.0%だった。

D 家庭のルールを決めるときは、必ず子どもの意見を聞かなければならない

- ・「どちらかといえばそう思う」が最多の43.9%、次いで「そう思う」25.0%、「どちらかといえばそう思わない」20.3%だった。
- ・「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「家庭のルールを決めるときは、必ず子どもの意見を聞かなければならない」とする意見について、性別の女性は73.5%であったのに対して、男性は65.3%、選択しない人は62.0%となった。
- ・この結果を全体的に見ると、年齢別の20歳代以下と60歳代では7割を超えている。反対に子育て世代の30歳代～50歳代はやや消極的といえる。

【表一性別集計】

		問8D. 家庭のルールを決めるときは必ず子どもの意見を聞かなければならない					
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	計
総数	度数	180	316	146	33	44	719
	%	25.0%	43.9%	20.3%	4.6%	6.1%	100.0%
性別 男性	度数	58	104	63	11	12	248
	%	23.4%	41.9%	25.4%	4.4%	4.8%	100.0%
女性	度数	98	173	66	14	18	369
	%	26.6%	46.9%	17.9%	3.8%	4.9%	100.0%
選択しない	度数	11	20	11	6	2	50
	%	22.0%	40.0%	22.0%	12.0%	4.0%	100.0%

【表一年齢別集計】

		問8D. 家庭のルールを決めるときは必ず子どもの意見を聞かなければならない					
		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答	計
総数	度数	180	316	146	33	44	719
	%	25.0%	43.9%	20.3%	4.6%	6.1%	100.0%
年齢 18～19歳	度数	4	3	1	1	0	9
	%	44.4%	33.3%	11.1%	11.1%	0.0%	100.0%
20～29歳	度数	9	22	11	1	0	43
	%	20.9%	51.2%	25.6%	2.3%	0.0%	100.0%
30～39歳	度数	4	24	13	5	0	46
	%	8.7%	52.2%	28.3%	10.9%	0.0%	100.0%
40～49歳	度数	15	38	19	4	1	77
	%	19.5%	49.4%	24.7%	5.2%	1.3%	100.0%
50～59歳	度数	17	47	22	7	1	94
	%	18.1%	50.0%	23.4%	7.4%	1.1%	100.0%
60～69歳	度数	40	78	36	7	4	165
	%	24.2%	47.3%	21.8%	4.2%	2.4%	100.0%
70歳以上	度数	79	94	37	4	34	248
	%	31.9%	37.9%	14.9%	1.6%	13.7%	100.0%

E 認知症の高齢者は迷惑をかけるから、行動の自由は制限されても仕方がない

- ・「どちらかといえばそう思う」が最多の37.8%、次いで「どちらかといえばそう思わない」24.8%、「そう思わない」21.1%となった。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「認知症の高齢者は迷惑をかけるから、行動の自由は制限されても仕方がない」とする意見は、47.1%、逆に「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた「仕方がないとは思わない」とする意見は、45.9%で両者の差はわずか1.2%で拮抗している。
- ・性別集計では女性だけが否定する意見が肯定する意見を上回っている。
- ・同様の傾向となったのは年齢別では60歳代、70歳以上だった。

【表一年齢別集計】

		問8E. 認知症の高齢者は迷惑をかけるから、行動の自由は制限されても仕方がない					
		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答	計
総数	度数	67	272	178	152	50	719
	%	9.3%	37.8%	24.8%	21.1%	7.0%	100.0%
年齢 18～19歳	度数	0	5	2	2	0	9
	%	0.0%	55.6%	22.2%	22.2%	0.0%	100.0%
20～29歳	度数	2	20	13	8	0	43
	%	4.7%	46.5%	30.2%	18.6%	0.0%	100.0%
30～39歳	度数	6	17	13	9	1	46
	%	13.0%	37.0%	28.3%	19.6%	2.2%	100.0%
40～49歳	度数	8	34	20	13	2	77
	%	10.4%	44.2%	26.0%	16.9%	2.6%	100.0%
50～59歳	度数	9	46	24	12	3	94
	%	9.6%	48.9%	25.5%	12.8%	3.2%	100.0%
60～69歳	度数	11	67	44	39	4	165
	%	6.7%	40.6%	26.7%	23.6%	2.4%	100.0%
70歳以上	度数	27	71	54	61	35	248
	%	10.9%	28.6%	21.8%	24.6%	14.1%	100.0%

F 障がいがあることを理由に、乗り物への乗車や入店を断られるのは問題だ

- ・「そう思う」が最多の54.8%、次いで「どちらかといえばそう思う」25.0%、「どちらかといえばそう思わない」8.2%、「そう思わない」5.8%だった。約8割が「障がいがあることを理由に、乗り物への乗車や入店を断られるのは問題だ」とする意見を示した。
- ・年齢別の10歳代、20歳代以外は全体的にも「そう思う」が5割以上を占めている。「障害者差別解消法」にも明記された内容であるが、その趣旨等について今後さらなる啓発が求められる。

G 精神に障がいのある人に対しては、なんとなく不安を感じる

- ・「どちらかといえばそう思う」が最多の52.2%、次いで「そう思う」21.7%、「どちらかといえばそう思わない」13.1%となった。「どちらかといえばそう思う」と「そう思う」を合わせた「精神に障がいのある人に対しては、なんとなく不安を感じる」という意見は73.9%で、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた否定意見は20.1%だった。
- ・全体的にもそうした傾向は見られるが、否定意見が「0」だったのは年齢別の10歳代で、全員が不安を感じていることが分かり、かなり厳しい結果といえる。

H 外国籍であっても、自治体の住民であるからには地方参政権を認め、投票できるようにする必要がある

- ・「どちらかといえばそう思う」が最多の33.4%、次いで「そう思う」25.5%、「どちらかといえばそう思わない」20.6%となった。「どちらかといえばそう思う」と「そう思う」を合わせた「外国籍であっても、自治体の住民であるからには地方参政権を認め、投票できるようにする必要がある」とする意見について、性別では女性だけが6割を超え、否定する意見についても3割を下回った。
- ・年齢別の集計では、10歳代～40歳代までは肯定する意見が6割～7割を超えた。

【表一年齢別集計】

		問8H. 外国籍であっても、自治体の住民であるからには地方参政権を認め、投票できるようにする必要がある					
		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答	計
総数	度数	183	240	148	90	58	719
	%	25.5%	33.4%	20.6%	12.5%	8.1%	100.0%
年齢 18～19歳	度数	2	4	3	0	0	9
	%	22.2%	44.4%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
20～29歳	度数	12	17	10	4	0	43
	%	27.9%	39.5%	23.3%	9.3%	0.0%	100.0%
30～39歳	度数	17	17	8	4	0	46
	%	37.0%	37.0%	17.4%	8.7%	0.0%	100.0%
40～49歳	度数	15	38	17	4	3	77
	%	19.5%	49.4%	22.1%	5.2%	3.9%	100.0%
50～59歳	度数	22	32	23	14	3	94
	%	23.4%	34.0%	24.5%	14.9%	3.2%	100.0%
60～69歳	度数	43	53	34	23	12	165
	%	26.1%	32.1%	20.6%	13.9%	7.3%	100.0%
70歳以上	度数	64	64	48	37	35	248
	%	25.8%	25.8%	19.4%	14.9%	14.1%	100.0%

I 国や自治体は、外国人に対するヘイトスピーチを繰り返す団体に、毅然とした態度をとる必要がある

- ・「そう思う」が最多の39.1%、次いで「どちらかといえばそう思う」33.8%、「どちらかといえばそう思わない」9.9%、「そう思わない」5.6%だった。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「国や自治体は、外国人に対するヘイトスピーチを繰り返す団体に、毅然とした態度をとる必要がある」とする意見は72.9%だった。全体を通じてほぼ同様の集計結果となった。

J 自分の子どもが同性愛者であっても、親として子どもの側に立ち、力になる必要がある

- ・「どちらかといえばそう思う」が最多の41.6%、次いで「そう思う」31.4%、「どちらかといえばそう思わない」12.1%だった。
- ・性別では男性は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「自分の子どもが同性愛者であっても、親として子どもの側に立ち、力になる必要がある」とする意見が70.1%で、女性の77.5%、選択しないの80.0%を下回っている。

【表－性別集計】

		問8J. 自分の子どもが同性愛者であっても、親として子どもの側に立ち、力になる必要がある					
		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答	計
総数	度数	226	299	87	43	64	719
	%	31.4%	41.6%	12.1%	6.0%	8.9%	100.0%
性別 男性	度数	70	104	39	22	13	248
	%	28.2%	41.9%	15.7%	8.9%	5.2%	100.0%
女性	度数	129	157	37	15	31	369
	%	35.0%	42.5%	10.0%	4.1%	8.4%	100.0%
選択しない	度数	15	25	4	2	4	50
	%	30.0%	50.0%	8.0%	4.0%	8.0%	100.0%

K 同性愛者であることを身近な人にも言えない社会は問題だ

- ・「どちらかといえばそう思う」が最多の42.3%、次いで「そう思う」25.5%、「どちらかといえばそう思わない」17.0%となった。
- ・性別の女性では「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「同性愛者であることを身近な人にも言えない社会は問題だ」とする意見は71.2%となり、男性より3.4ポイント、選択しないより9ポイント上回った。

- ・年齢別の70歳以上については肯定する意見は6割未満に止まった。また、「同性愛者であることを身近な人にも言えない社会は問題とは思わない」という意見について20歳代、小学校区別の葛小、職業別の官公庁では「0」だった。

【表一年齢別集計】

		問8K. 同性愛者であることを身近な人にも言えない社会は問題だ					
		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答	計
総数	度数	183	304	122	41	69	719
	%	25.5%	42.3%	17.0%	5.7%	9.6%	100.0%
年齢 18～19歳	度数	4	3	1	1	0	9
	%	44.4%	33.3%	11.1%	11.1%	0.0%	100.0%
20～29歳	度数	16	20	7	0	0	43
	%	37.2%	46.5%	16.3%	0.0%	0.0%	100.0%
30～39歳	度数	15	21	8	2	0	46
	%	32.6%	45.7%	17.4%	4.3%	0.0%	100.0%
40～49歳	度数	22	44	4	5	2	77
	%	28.6%	57.1%	5.2%	6.5%	2.6%	100.0%
50～59歳	度数	20	49	15	7	3	94
	%	21.3%	52.1%	16.0%	7.4%	3.2%	100.0%
60～69歳	度数	36	71	38	9	11	165
	%	21.8%	43.0%	23.0%	5.5%	6.7%	100.0%
70歳以上	度数	64	82	43	15	44	248
	%	25.8%	33.1%	17.3%	6.0%	17.7%	100.0%

L 犯罪被害者のプライバシーが興味本位にとりあげられることは問題だ

- ・「そう思う」が最多の58.8%、次いで「どちらかといえばそう思う」26.3%で両者を合わせた「犯罪被害者のプライバシーが興味本位にとりあげられることは問題だ」とする意見は85.1%となり、反対に「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた否定意見は10%未満だった。全体を通じた傾向としてもほぼ同様と考えて差し障りない。

M 刑を終えて出所した人を、社会復帰できるよう地域社会で支える必要がある

- ・「どちらかといえばそう思う」が最多の45.1%、次いで「そう思う」33.8%、「どちらかといえばそう思わない」8.6%、「そう思わない」4.7%だった。「どちらかといえばそう思う」と「そう思う」を合わせた「刑を終えて出所した人を、社会復帰できるよう地域社会で支える必要がある」とする意見は、78.9%となった。逆に否定する意見は13.3%となった。
- ・「そう思う」が高い数値を示しているのは、年齢別の60歳代、70歳以上、小学校区別の掖上小だった。

N 女性専用車両は女性を保護しすぎている

- ・「そう思わない」が最多の29.3%、次いで「どちらかといえばそう思わない」28.7%、「どちらかといえばそう思う」22.3%だった。
- ・性別集計から男性は「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた「女性専用車両は女性を保護しすぎているとは思わない」とする意見が5割であったが、女性は64.2%、選択しない人は62.0%だった。女性の方が男性より14ポイント多く、この問題に関して敏感に反応していると思われる。
- ・年齢別では30歳代～60歳代については、否定する意見が6割以上で他よりも高い数値を示した。

【表一性別集計】

		問8N. 女性専用車両は女性を保護しすぎている					
		そう思う	どちらか といえばそう 思う	どちらか といえばそう 思わない	そう思わ ない	無回答	計
総数	度数	91	160	206	211	51	719
	%	12.7%	22.3%	28.7%	29.3%	7.1%	100.0%
性別 男性	度数	45	68	64	61	10	248
	%	18.1%	27.4%	25.8%	24.6%	4.0%	100.0%
女性	度数	30	76	116	121	26	369
	%	8.1%	20.6%	31.4%	32.8%	7.0%	100.0%
選択しない	度数	8	9	16	15	2	50
	%	16.0%	18.0%	32.0%	30.0%	4.0%	100.0%

O 同性のカップルにも夫婦と同じ権利を認める必要がある

- ・「どちらかといえばそう思う」が最多の39.6%、次いで「そう思う」24.9%、「どちらかといえばそう思わない」17.4%となった。「どちらかといえばそう思う」と「そう思う」を合わせた「同性のカップルにも夫婦と同じ権利を認める必要がある」とする意見について、性別では選択しないが最多で74.0%だった。
- ・年齢別では10歳代が全員肯定する意見に回答している。反対に60歳代、70歳以上は6割未満となった。
- ・職業別では官公庁の肯定する意見が9割を超えている。

【表一年齢別集計】

		問8O. 同性のカップルにも夫婦と同じ権利を認める必要がある					
		そう思う	どちらか といえばそう 思う	どちらか といえばそう 思わない	そう思わ ない	無回答	計
総数	度数	179	285	125	62	68	719
	%	24.9%	39.6%	17.4%	8.6%	9.5%	100.0%
年齢 18～19歳	度数	6	3	0	0	0	9
	%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
20～29歳	度数	15	22	5	1	0	43
	%	34.9%	51.2%	11.6%	2.3%	0.0%	100.0%
30～39歳	度数	18	18	6	4	0	46
	%	39.1%	39.1%	13.0%	8.7%	0.0%	100.0%
40～49歳	度数	29	32	8	5	3	77
	%	37.7%	41.6%	10.4%	6.5%	3.9%	100.0%
50～59歳	度数	24	44	19	5	2	94
	%	25.5%	46.8%	20.2%	5.3%	2.1%	100.0%
60～69歳	度数	32	64	40	14	15	165
	%	19.4%	38.8%	24.2%	8.5%	9.1%	100.0%
70歳以上	度数	47	87	44	30	40	248
	%	19.0%	35.1%	17.7%	12.1%	16.1%	100.0%